

### ■2020年夏 一部公開時における施設整備の考え方

※明治記念大磯邸園基本計画 (H31・4) より抜粋引用

#### 1) 施設整備における基本的な考え方:

「明治記念大磯邸園基本計画 (H31・4)」で示された基本方針の内、主に施設整備における項目に該当する、「(2) 湘南の邸園文化を象徴する佇まい (風致) を保全する」を、本施設整備の考え方の前提とする。

#### 2)-1. 国道1号 (旧東海道) に面する空間整備における主な留意点

- 東海道の松並木等の周辺の自然環境が一体となって、積層する歴史を今日に伝える佇まい (風致) を、後世に残していくことが求められている。
- 積層する歴史や現況等を踏まえた邸宅や庭園等の修復等を行う。
- 本邸園のエントランス等の東海道 (国道1号) に面する空間においては、松並木等の歴史的景観との調和を図る。
- 本邸園の境界部については、周辺の住環境や景観に配慮した植栽等の設えを検討する。

#### 2)-2. 庭園修復における主な留意点

- 現存する旧古河別邸の庭園の造形を活かした既存樹木の保全
- 庭園と邸宅との調和に配慮した植栽等

#### ◆ エントランス整備の考え方 / 機能面・デザイン性など

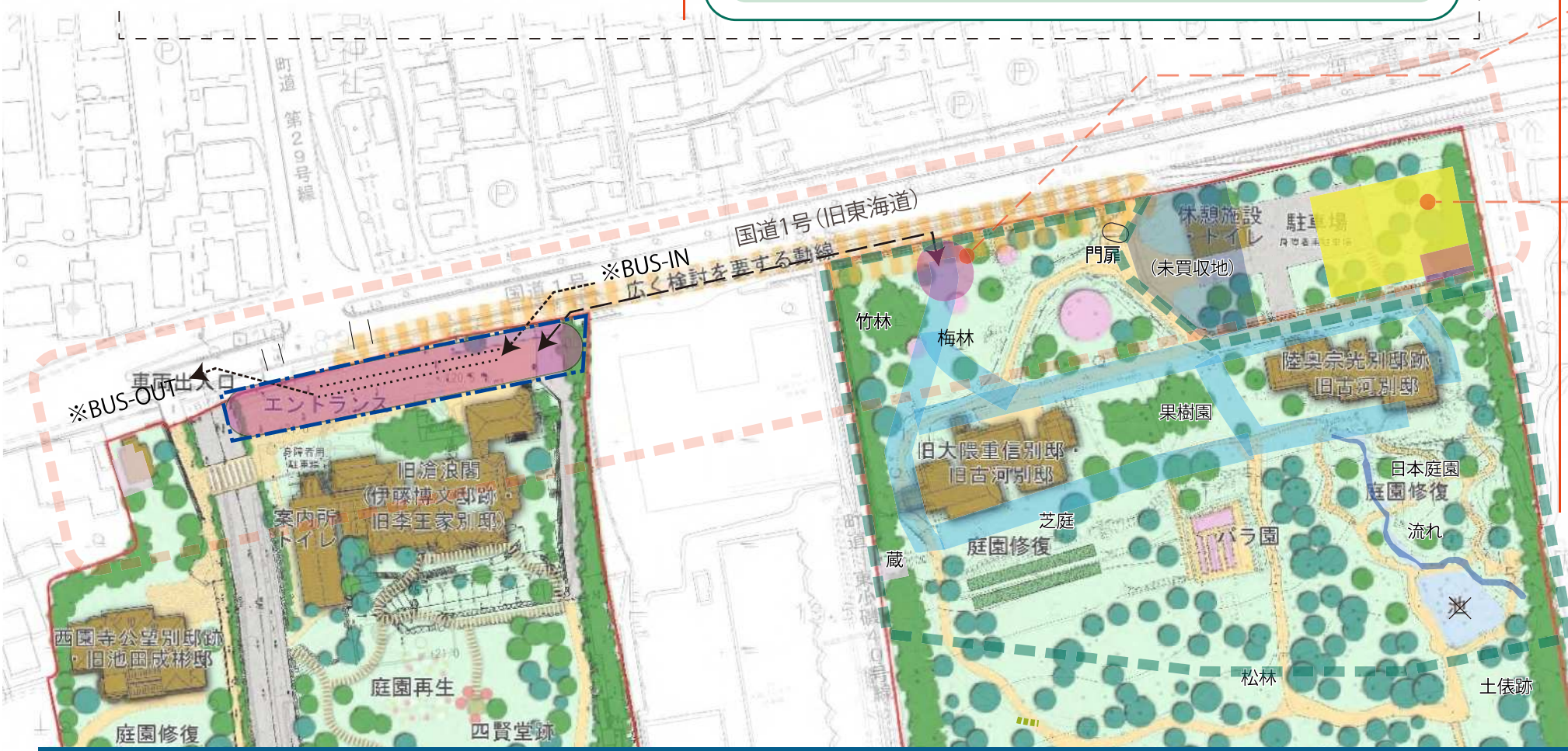
- ・ 暫定整備
- ・ 現況の外周壁は、近隣石材である凝灰岩で積まれたもので、積層する歴史の構成要素の一つと言える。また現況の門扉付近で用いられている敷石や板戸等のデザイン要素を含め、地域に馴染んだ沿道景観の継承を図ることを狙いとした、エントランスデザインとする。
- ・ 東海道松並木の景観をこれまで沿道際で補完していた大径木 (クスノキ) を活用することで、ゲートとしての視認性や存在感を高めつつ、かつ、沿道空間として地域に木陰を提供する要素となるよう考慮する。
- ・ 国道沿い歩道の狭さを解消するため、外周壁のセットバックとエントランス前でのたまり空間を組み合わせる。
- ・ 邸園らしい奥ゆかしさをもたせるため、緩やかな線形や、既存樹木を活かした「見え隠れ」を意識する。また、既存の梅林や竹林を活かした小径景観とする。
- ・ 暫定整備以前への可逆性に留意する。

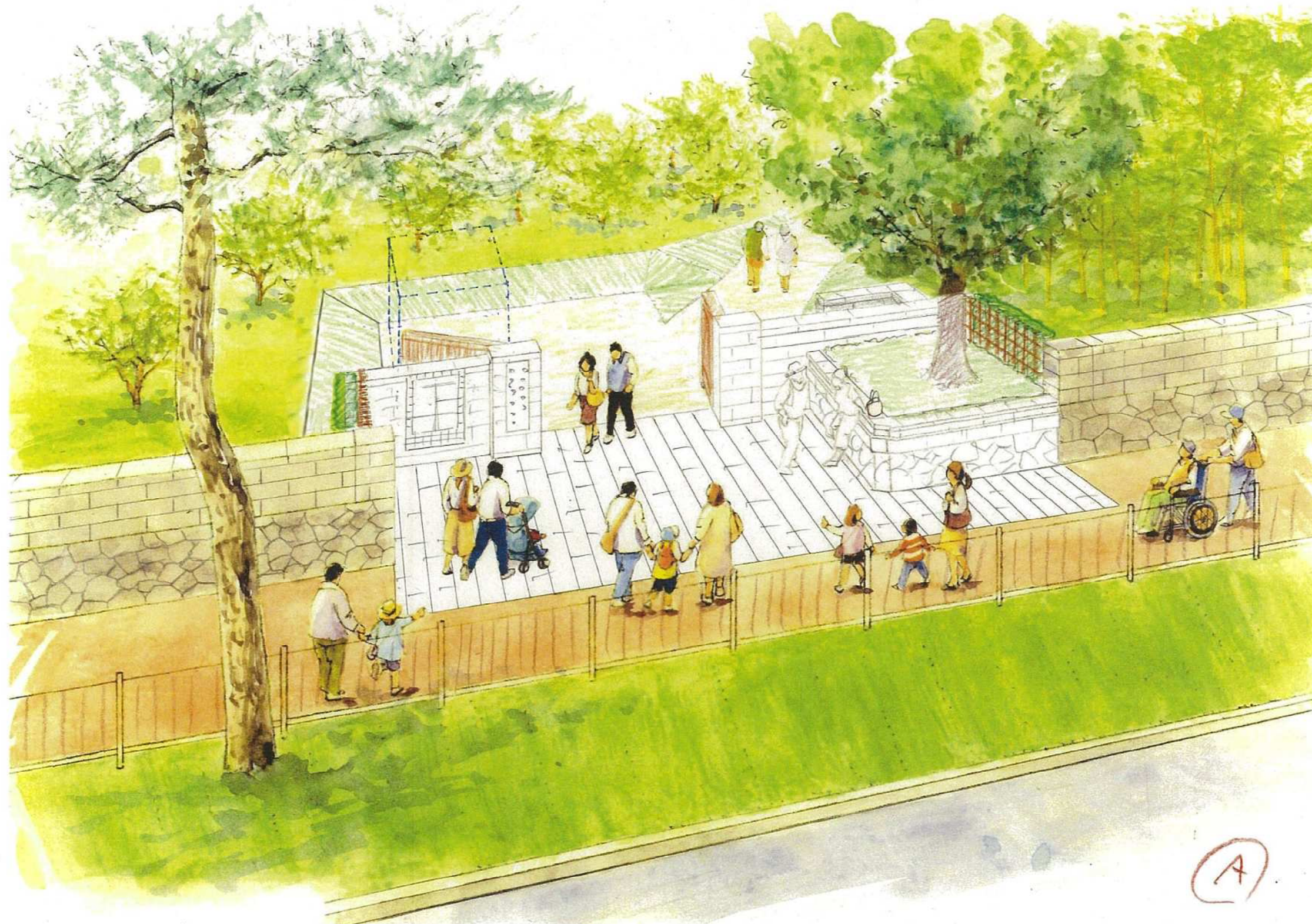
#### ◆ バックヤード整備の考え方 / 機能面・デザイン性など

- ・ 暫定整備
- ・ 貯水タンク等の設備や仮設トイレについては、園路や国道1号からできるだけ見えない配置にすると共に、現況の石積や灌木植え込みを遮蔽要素として活かす。さらに、遮蔽ウォールや遮蔽植栽で補完する。
- ・ 設備系メンテナンスを考慮した配置とする。(4t ユニック車の進入等を想定)
- ・ 未買収地が隣接していること等を踏まえ、地形の改変や大規模な伐採は避ける。
- ・ 現況の石積部の内、倒壊が懸念される区間 (未補修区間) について撤去する。

#### ■ 凡例

車イス配慮型動線 (※要介助者)

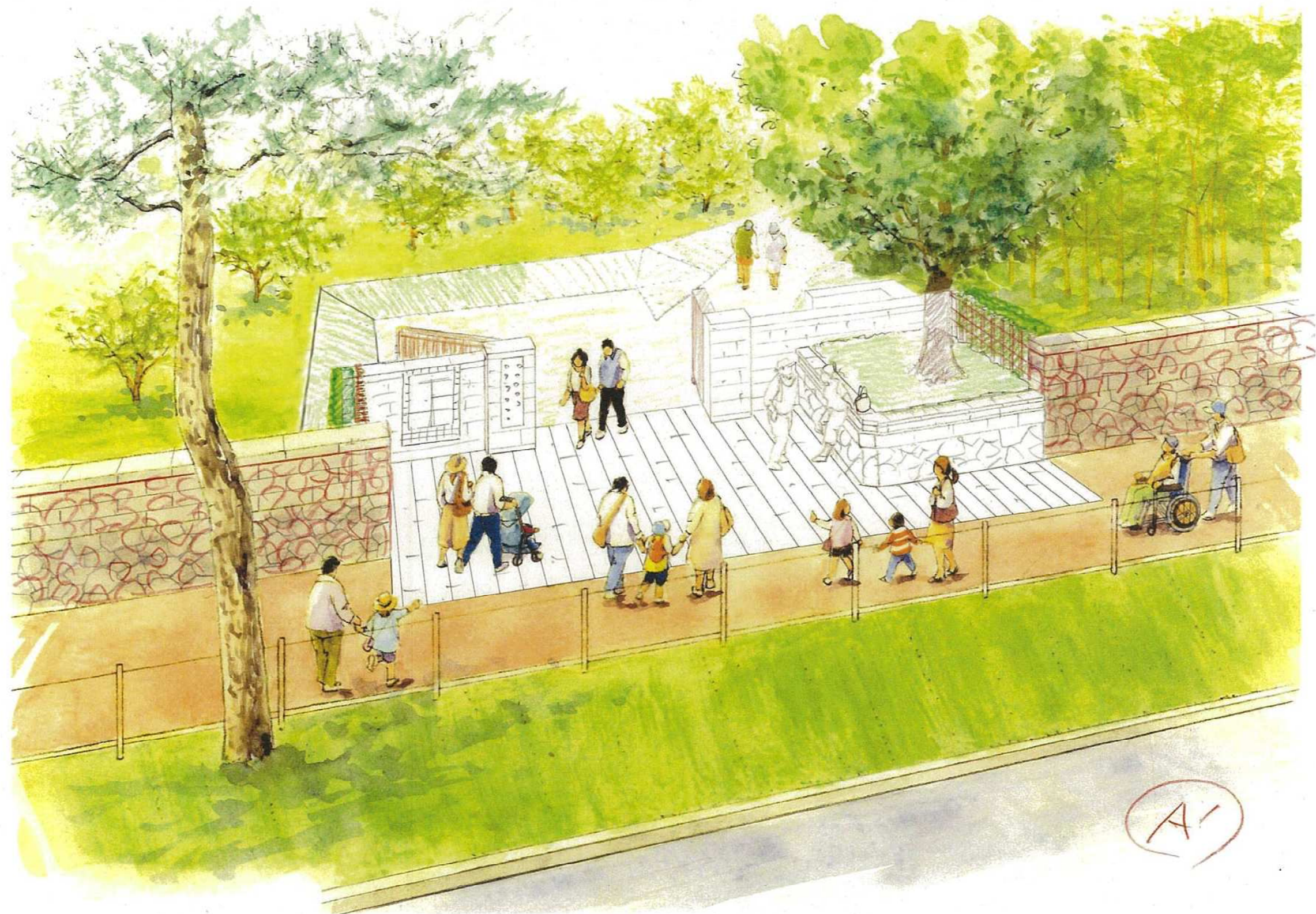




※作画中

### ●擁壁-A案（現状継承型-2段石塀風）イメージ

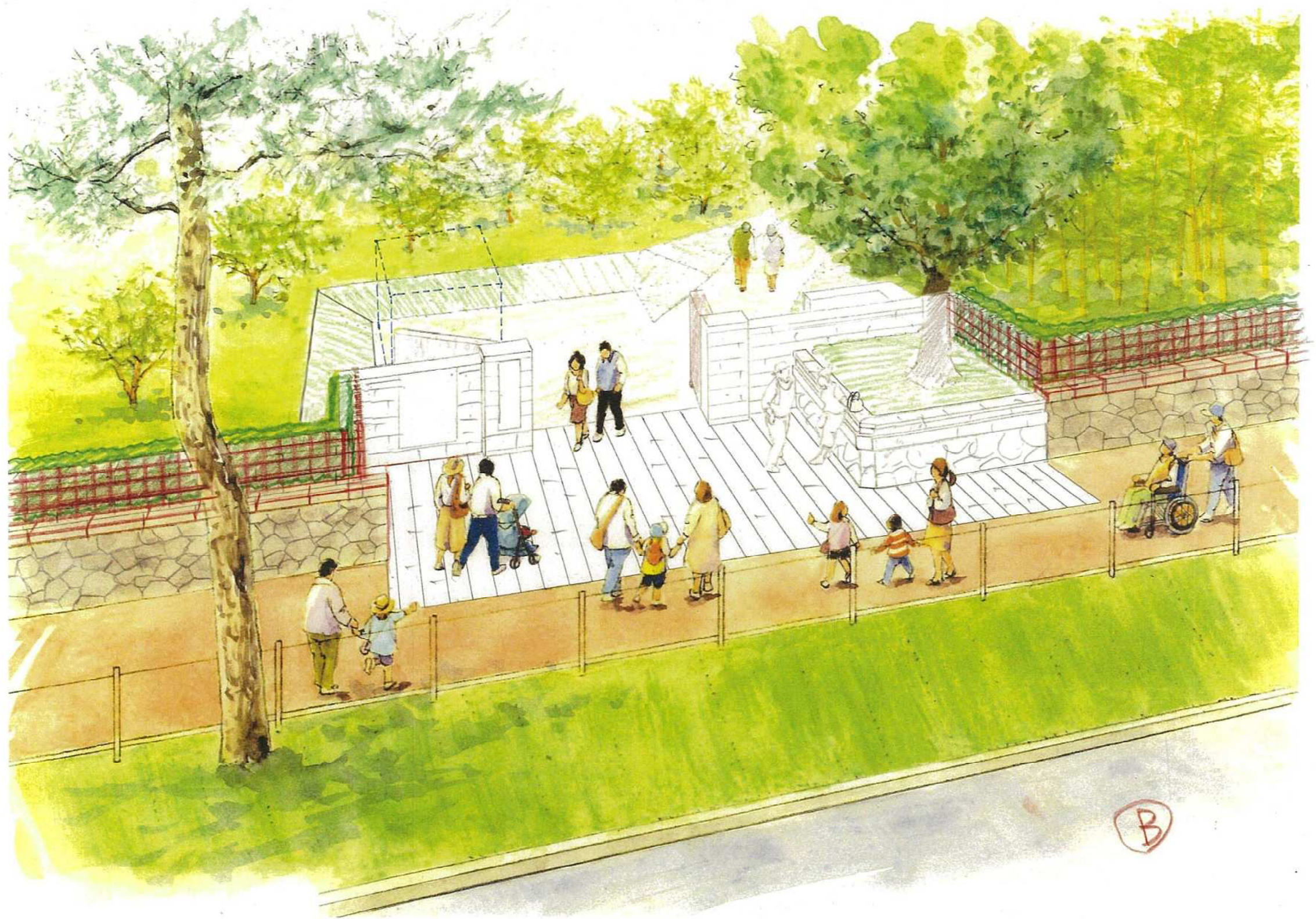
- ・現在の2段石積擁壁（凝灰岩-切石積+雑石積）の雰囲気継承
- ・擁壁配置をセットバックすることで、現状約1.3m程度の歩道幅員を約3m程度まで拡げる



※作画中

### ●擁壁-A' 案（雑石石塀風）イメージ

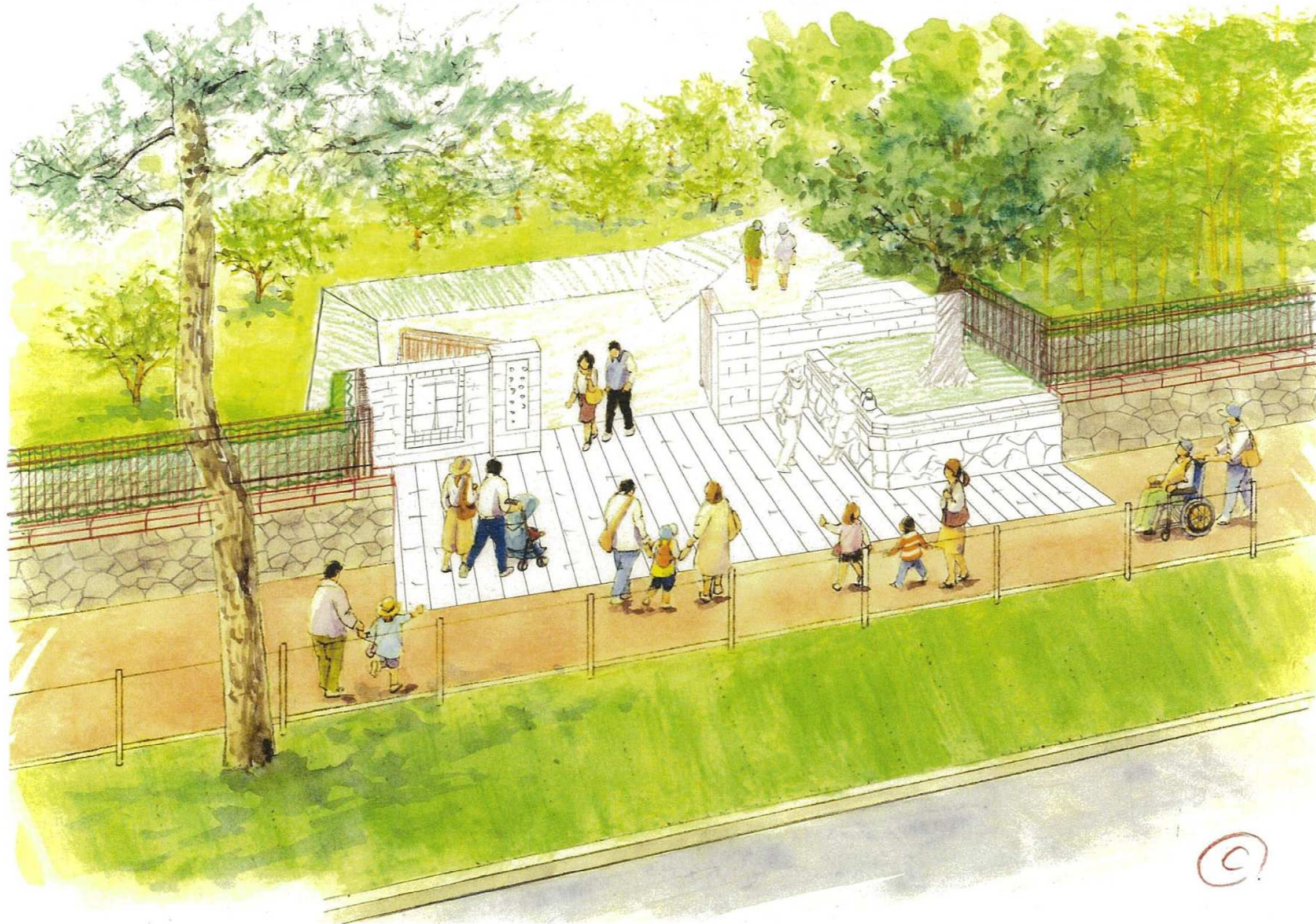
- ・大磯町内の別荘跡等（旧岩崎弥之助別邸跡、旧木下家別邸）で見られる凝灰岩による雑石積擁壁の雰囲気をもチーフとしたデザイン
- ・擁壁配置をセットバックすることで、現状約 1.3m 程度の歩道幅員を約 3m 程度まで拡げる



※作画中

### ●擁壁-B案（石積風+四ツ目垣+生垣）イメージ

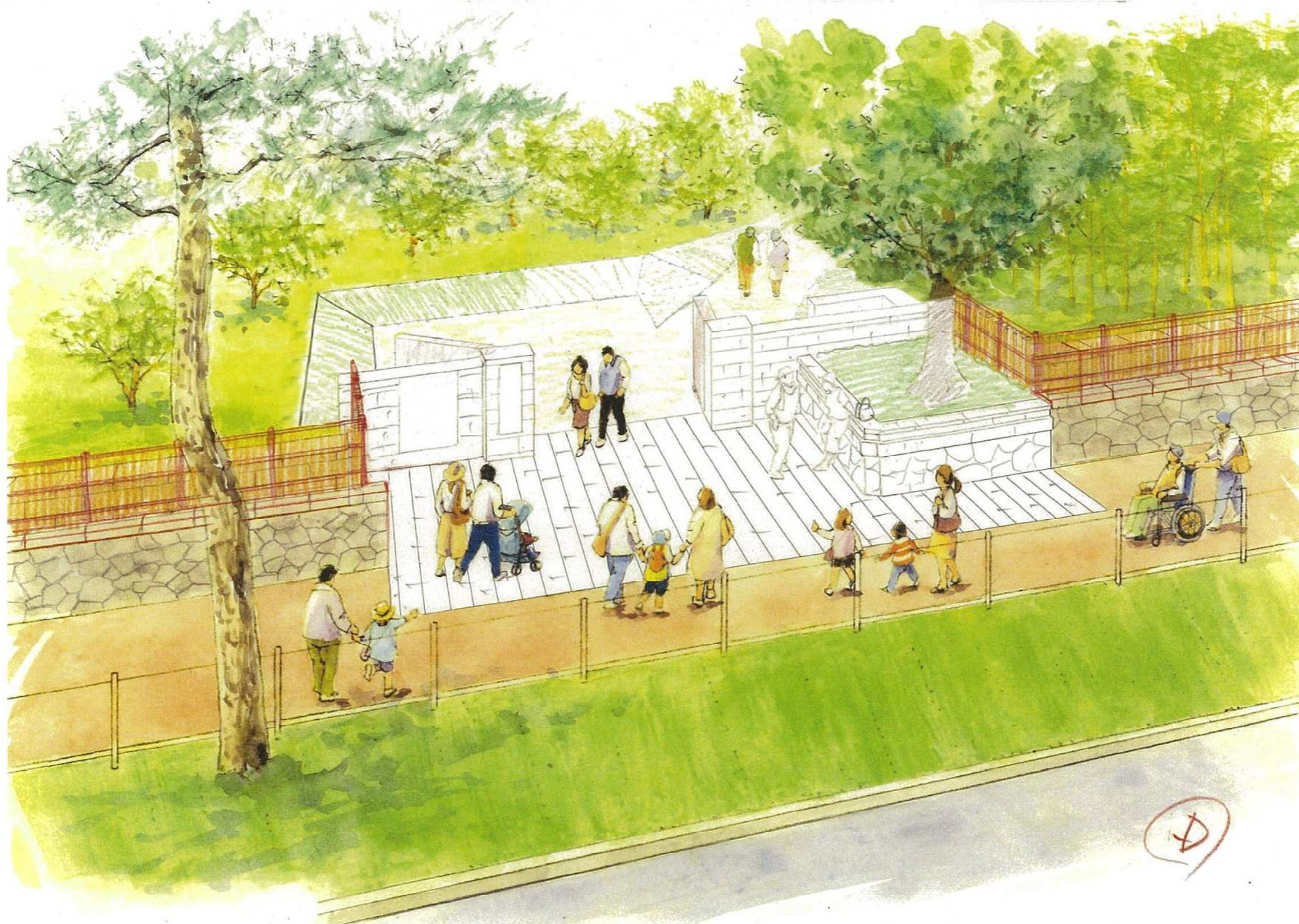
- ・近隣地域で産出される凝灰岩による雑石積擁壁、東小磯の路地の雰囲気構成している四ツ目垣、及び本邸園内で使われているイヌマキ生垣の組合せとしてまとめたデザイン
- ・擁壁配置をセットバックすることで、現状約1.3m程度の歩道幅員を約3m程度まで拡げる



※作画中

### ●擁壁-C案（石積風+千本格子+生垣）イメージ

- ・この地域で見られる凝灰岩による雑石積擁壁、本邸園内で使われているイヌマキの生垣、及び千本格子によるフェンスとの組合せでまとめたデザイン
- ・擁壁配置をセットバックすることで、現状約1.3m程度の歩道幅員を約3m程度まで拡げる



※作画中

### ●擁壁-D案（石積風+建仁寺垣）イメージ

- ・この地域で見られる凝灰岩による雑石積擁壁と、数寄屋風情に合わせた建仁寺垣の組合せでまとめたデザイン
- ・擁壁配置をセットバックすることで、現状約1.3m程度の歩道幅員を約3m程度まで拡げる

## ■擁壁案の比較検討

・以下5つのプランについて、以下の観点から比較評価を行った。

|   | プラン                     | 評価の観点  |   |   |         | 総合評価（案） | 備考 |                                  |
|---|-------------------------|--|---|---|---------|---------|----|----------------------------------|
|   |                         | 地域景観<br>との馴染み                                  | 防犯性   | 現況石材<br>流用リスク   | トータルコスト |         |    |                                  |
|   |                         |  |   |   | イニシャル   |         |    | ランニング                            |
| ■ | 擁壁-A案<br>(現状同等型-2段石塀風)  | ◎<br>現状の沿道景観に最も近い<br>プランにて、雰囲気を継承              | ○<br>物理的には足掛かりが少<br>なく、心理的には乗り越え抑制<br>感が高い                      | △<br>切石・雑石双方が相当量必要、<br>新材は現在産出難<br>現況石材が流用可能である場<br>合に適用可                     | 高       |         | ○  | 将来的には赤<br>外線装置によ<br>る監視体制を<br>構築 |
|   |                         |  |   | 高   | 低       |         |    |                                  |
| ■ | 擁壁-A'案<br>(雑石積塀風)       | ○<br>現状と地域性を兼ね備える                              | ○<br>"  | △<br>雑石が相当量必要、雑石をそ<br>のまま流用、又はスライス加<br>工にて流用、新材は産出難<br>現況石材が流用可能である場<br>合に適用可 | 高       |         | △  | "                                |
|   |                         |  |   | 高   | 低       |         |    |                                  |
| ■ | 擁壁-B案<br>(雑石積風+四ツ目垣+生垣) | ○<br>現状と地域性を兼ね備え、<br>かつ公園として地域に開か<br>れた印象を持たせる | △<br>物理的には足掛りの懸念があ<br>るものの、心理的には複合高<br>がA・A'同等にて、乗り越え<br>抑制感を保つ | ○<br>雑石をそのまま流用、又はス<br>ライス加工にて流用、新材は<br>産出難<br>現況石材の流用可能量が少な<br>い場合に有利         | 低       |         | ◎  | メンテナンス<br>として<br>垣修繕+生垣<br>剪定    |
|   |                         |  |   | 低   | 中       |         |    |                                  |
| ■ | 擁壁-C案<br>(雑石積風+千本格子+生垣) | △<br>現状と地域性を兼ね備える<br>一方、新たな素材による不<br>調和が懸念     | △<br>"  | ○<br>"  | 低       |         | △  | メンテナンス<br>として<br>格子は塗装+<br>生垣剪定  |
|   |                         |  |   | 低   | 中       |         |    |                                  |
| ■ | 擁壁-D案<br>(雑石積風+建仁寺垣)    | △<br>"   | △<br>"  | ○<br>"  | 中       |         | △  | 垣は擬竹仕様                           |
|   |                         |  |   | 中   | 低       |         |    |                                  |



明治記念大磯邸園 / 消火ポンプ場 + バックヤード設置及び仮設トイレの設置について